

# とやのんキッズレター

コロナの感染予防対策は  
他の感染症予防にも効果的です!!  
継続していきましょう



## 3大夏カゼの時期がやってきました!!

### 手足口病

手足口病は、従来手のひら、足の裏や口の中に数mmの赤い発疹や水疱を作り、口の中の水疱は痛いのですが、手足の発疹は痛みやかゆみがないことが普通で、高熱は少なく、微熱程度で全身状態が良いことがほとんどでした。

しかし近年みられるようになったコクサッキーウイルスA6による手足口病では、水疱が5mm程度と大きく、四肢末端だけでなく腕や脚、臀部と広範囲に認められ、発熱も39℃を上回ることも珍しくなく、水ぼうそうとの鑑別が困難な例もあります。また、手の痛みが強かったり、治癒した後爪が脱落する場合もあるようです。

もしも  
かかってしまったら・・・



### 対処法

どの場合もたいへいは数日の安静で治りますが、のどの痛みがひどくて水分も摂れない時、頭痛や下痢がひどい時、嘔吐がみられる時はご相談ください。  
夏風邪の特徴として、症状改善後も、数週間の長期にわたり便からウイルスが排出されることがわかっています。マスク着用につとめたり、おむつ交換などで排泄物に触れた際は手洗いをしっかりと、2次感染を防ぎましょう。

※プール熱に関しては、保育園へ提出する『医師の意見書』へ医師が記入する必要があります。(手足口病・ヘルパンギーナは保護者のサインだけでも可)



### プール熱(咽頭結膜熱)

プール熱は発熱、のどの痛み、結膜充血などを特徴とし、夏季にプールで伝染したことからこの名前がつけました。

### ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは高熱とのどにできる水疱が特徴で、のどの痛みが強く、水分を摂ることができなくなってしまい脱水になる場合もあります。

## 熱中症

体温調節が十分に発達していない乳幼児は、大人よりも熱中症にかかりやすいといわれていますので、より一層の熱中症予防・対策をおこなう必要があります。

### 熱中症が疑われるときの応急処置



### 熱中症にならないための 予防策

1. 水分を多めに摂る
2. 熱や日差しから守る
3. 地面の熱に気を付ける
4. 暑い環境に置き去りにしない
5. 室内遊びも油断しない
6. 周りの大人が気にかける
7. 外で夢中になりすぎない

👉 **ここが重要!!**  
もしも熱中症かな?と思ったときは・・・

- ⚠️ すぐに医療機関へ相談、または救急車を呼びましょう
- ⚠️ 涼しい場所へ移動しましょう
- ⚠️ 衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう
- ⚠️ 塩分や水分を補給しましょう (おう吐の症状が出ていたり意識がない場合は、無理やり水分を飲ませる事はやめましょう)

### 4ヶ月・10ヶ月健診のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止として、4ヶ月健康診査が、医療機関での個別健診へと変更となりました。とやのクリニックでも6月より4ヶ月健診を受付開始となりました。

📍 **随時受け付けしています!!**

スタッフへお声掛けください



とやのクリニック  
☎544-1122